

かかしのはなし



あるところにかかしがいました。



かかしはわらで作られただけで、顔もありません。
畑に来るカラスはかかしを怖がりません。

かかしは役にたっていませんでした。

「どうしたらカラスたちにバカにされないだろう」

「周りが見られるように、目がほしいです」

かかしはお祈りしました。

すると、かみさまがかかしに目をつけてくれました。



けれどもかかしが見たものは、全く自分を怖がらないカラスの姿だけ。

カラスはカアカアと鳴いていますが、目しかないかかしには何を言っているのかわかりません。

「カラスたちの言うことがわかるように耳がほしいです。」

かかしはお祈りしました。

すると、かみさまがかかしに耳をつけてくれました。



けれどもかかしが聞いたものは、自分をバカにするカラスの声だけ。

カラスはかかしにちょっかいを出していますが、目と耳しかないかかしは何も言い返せません。

「カラスたちに注意出来るように口がほしいです。」

かかしはお祈りしました。

すると、かみさまがかかしに口をつけてくれました。



けれどもかかしが言い返しても、カラスたちは聞く耳をもちません。

カラスはバタバタと飛び回りますが、目と耳と口しかないかかしは追い払うことも出来ません。

「カラスたちを追い払えるように手がほしいです。」

かかしはお祈りしました。

すると、かみさまがかかしに手をつけてくれました。



けれどもかかしが追い払っても追い払っても、カラスたちはやめません。

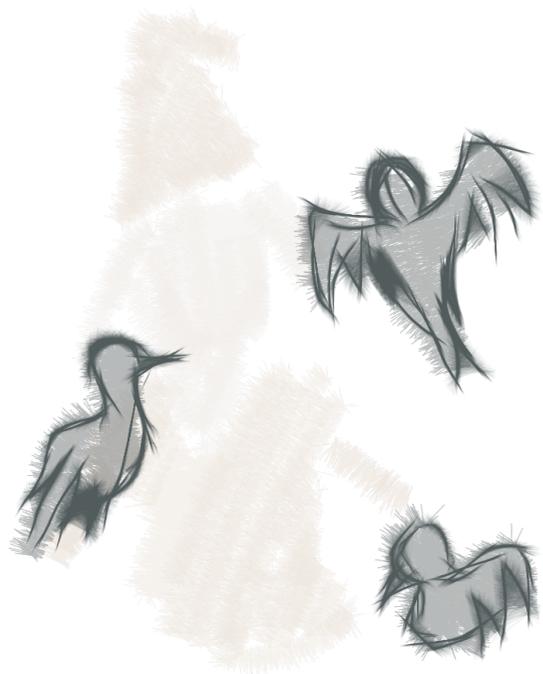
かかしは、こんなにもバカにされている自分が情けなくなりました。

「バカにされたいようになりたい……」

お祈りしようとした瞬間、かかしはふっと気づきました。

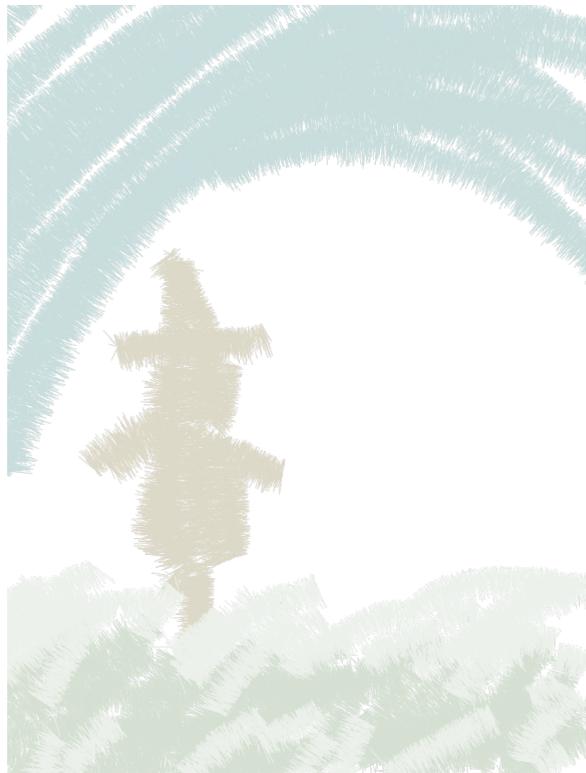


「畑を守るための、強い気持ちが欲しいです。」



不思議なことに、それからカラスたちはかかしをバカにしなくなり、おとなしくなりました。

かかしはかみさまに感謝して、いつまでも畑を守っています。



でも、かみさまがいうには、

最後のお祈りはかなえていないそうですよ？

かかしのはなし

<http://p.booklog.jp/book/40032>

著者：み〜こ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/miko2/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/40032>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/40032>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.